

平成24年第1回定例会（2月議会）

予算特別委員会農林水産分科会  
付託議案関係資料

（補正予算関係）

平成24年2月27日

農 林 水 産 部

# 目 次

1	農地利用集積緊急対策事業〔農林政策課〕	1
2	土壌環境総合対策事業〔水田综合利用課〕	2
3	新秋田米総合支援対策事業〔水田综合利用課〕	3
4	(新)酪農経営緊急支援対策事業〔畜産振興課〕	4
5	漁業調査指導船千秋丸代船建造事業〔水産漁港課〕	5
6	秋田の地魚加工商品開発・販売推進特別対策事業〔水産漁港課〕	6
7	森林整備及び木材産業振興臨時対策基金積立金〔林業木材産業課〕	7

# 1 農地利用集積緊急対策事業

農林政策課

## 1 補正内容

単位：千円

事業名	予算現計	実績見込み額	補正額
農地利用集積緊急対策事業	18,000	36,695	18,695
(1) 農地利用集積緊急事業	7,000	8,918	1,918
(2) 規模拡大団地化形成事業	11,000	27,777	16,777

## 2 事業概要及び補正の主な理由

### (1) 農地利用集積緊急事業

#### ア 事業概要

農地利用集積円滑化団体に対し、その利用調整活動により、農地の所有権移転または農作業受委託に係る契約がなされた面積に応じて、交付金を交付する。

- ・ 事業主体 農地利用集積円滑化団体
- ・ 交付単価 10,000円/10a
- ・ 交付金の使途 会議費、印刷費、燃料費、賃金、消耗品費、奨励金等
- ・ 集積対象者 認定農業者、農業生産法人

#### イ 補正の理由

- ・ 交付金の交付対象見込みとなる農地面積が増加したため。
- ・ 計画面積：70ha → 実績見込み面積：89.18ha（19.18haの増）

### (2) 規模拡大団地化形成事業

#### ア 事業概要

農業者戸別所得補償制度の規模拡大加算交付金または上記(1)の対象となる農地のうち、1ha以上の団地が形成された農地について、交付金を交付する。

- ・ 事業主体 農地利用集積円滑化団体
- ・ 交付単価 5,000円/10a
- ・ 交付金の使途 受け手農家への奨励金

#### イ 補正の理由

- ・ 交付金の交付対象見込みとなる農地面積が増加したため。
- ・ 計画面積：220ha → 実績見込み面積：555.54ha（335.54haの増）

## 2 土壌環境総合対策事業

水田総合利用課

### 1 補正内容

単位：千円

事業名	予算現計	実績見込み額	補正額
土壌環境総合対策事業	75,526	53,094	△ 22,432
(1) 土壌汚染対策事業	41,159	33,960	△ 7,199
(2) 土壌汚染対策調査事業	8,165	7,487	△ 678
(3) 安全な米生産流通対策事業	4,805	2,804	△ 2,001
(4) 安心秋田米確保事業	12,997	3,675	△ 9,322
(5) カドミウム汚染米買入基準調査分析事業	8,400	5,168	△ 3,232

### 2 事業概要及び補正の主な理由

#### (1) 土壌汚染対策事業

##### ア 事業概要

汚染米発生防止の啓発活動、植物浄化技術の実証、吸収抑制資材の散布

##### イ 補正の理由

植物浄化技術の推進拠点地区における取組面積の減（計画：10ha → 実績：8ha）

#### (2) 土壌汚染対策調査事業

##### ア 事業概要

新たな汚染対策地域指定のための立毛玄米中・土壌中カドミウム濃度調査

##### イ 補正の理由

カドミウム濃度分析費の減（入札による分析単価の減）

#### (3) 安全な米生産流通対策事業

##### ア 事業概要

J A等によるロット調査のクロスチェック、市町村の水管理巡視員配置への支援

##### イ 補正の理由

カドミウム濃度分析費の減及び湛水管理の巡視面積の減  
（計画：8,317ha → 実績：4,327ha）

#### (4) 安心秋田米確保事業

##### ア 事業概要

県によるロット調査、22年産汚染米（1.0ppm以上）の買入・処理

##### イ 補正の理由

県の買入・処理の対象となる汚染米の発生が無かったことによる減

#### (5) カドミウム汚染米買入基準調査分析事業（9月補正）

##### ア 事業概要

23年産から実施する県独自の汚染米買入基準を設定するための調査分析

##### イ 補正の理由

カドミウム濃度分析費の減及び調査分析点数の減  
（計画：30ロット、2,100袋 → 実績：24ロット、1,330袋）

### 3 新秋田米総合支援対策事業

水田総合利用課

#### 1 補正内容

単位：千円

事業名	予算現計	実績見込み額	補正額
新秋田米総合支援対策事業	177,661	106,165	△71,496
(1) 秋田米技術革新促進対策	3,739	3,739	0
(2) 需要対応型秋田米生産支援	2,037	2,037	0
(3) 主要農作物種子対策	45,385	45,304	△81
(4) 原種生産体制整備事業	24,000	24,000	0
(5) 水田経営維持・強化支援事業	102,500	31,085	△71,415

#### 2 事業概要及び補正の理由

水田経営維持・強化支援事業(国庫補助事業)の補正理由等については、以下のとおり。

##### (1) 農業・食品産業強化対策整備交付金

###### ア 事業概要

安定的な水田経営の実現に向け、共同利用施設の整備等に対して支援する。

###### イ 補正の理由

国からの交付金（強い農業づくり交付金、東日本大震災農業生産対策交付金）の確定による。

##### ① おものがわ農業協同組合

- ・ 穀類乾燥調製施設の増強（処理量：新規需要米250ト）
- ・ 当初予算額 43,500千円 → 実績見込み額 26,673千円
- ・ 事業計画どおりに実施。

##### ② (農)樽見内営農組合

- ・ 穀類乾燥調製施設の新設（処理量：新規需要米151ト）
- ・ 当初予算額 15,000千円 → 実績見込み額 0千円
- ・ 建屋は自己資金で、乾燥機等の施設は農業法人経営発展支援事業で整備。

##### ③ (農)たのうえ

- ・ 穀類乾燥調製施設の新設（処理量：主食用米332ト、大豆42ト）
- ・ 当初予算額 40,000千円 → 実績見込み額 0千円
- ・ 事業計画を再検討中。

##### ④ 秋田ふるさと農業協同組合

- ・ 東日本大震災により損傷したカントリーエレベータの補修
- ・ 当初予算額 0千円 → 実績見込み額 2,001千円

##### (2) 鳥獣被害防止総合対策交付金

###### ア 事業概要

市町村協議会（能代市、八峰町）が行う鳥獣被害防止の取組に対して支援する。

###### イ 補正の理由

国からの交付金（鳥獣被害防止総合対策交付金）の確定による。

- ・ 当初予算額 4,000千円 → 実績見込み額 2,411千円

## 4 酪農経営緊急支援対策事業（新規）

畜産振興課

東日本大震災に伴う停電等により、県内全ての酪農家において、集乳・冷却停止による生乳廃棄や、搾乳停止による乳房炎の発生等の影響を受け、生乳の生産量が大きく減少した。

このため、生産者団体による酪農家支援の取組に対して助成し、本県酪農の持続的な発展に資する。

### 1 事業内容

#### (1) 乳用牛導入支援事業

生乳生産を回復するために行う乳用牛の導入を支援する。

- ・ 支援頭数：301頭（平成23年4月1日以降の導入が対象）
- ・ 支援単価：66千円／頭

#### (2) 粗飼料供給支援事業

被災酪農家に対する粗飼料供給の取組を支援する。

- ・ 被災酪農家：142戸（県内全ての酪農家）
- ・ 粗飼料供給量：93トン（生乳生産量をもとに各酪農家に配分）

### 2 事業主体

- (1)：全農秋田県本部、JA秋田おばこ、JAあきた北央
- (2)：全農秋田県本部

### 3 予算額

26,874千円（国庫補助金）

(1) 19,866千円

〔負担金補助及び交付金 19,866千円〕

(2) 7,008千円

〔負担金補助及び交付金 7,008千円〕

### 4 事業年度

平成23年度

## 5 漁業調査指導船千秋丸代船建造事業

水産漁港課

### 1 補正内容

(単位：千円)

区分	平成23年度			平成24年度	全体計
	予算現計	補正額	実績見込み額		
工事請負費	240,000	△189,953	50,047	632,243	682,290
監督費	2,541	0	2,541	2,541	5,082
事務費	2,259	0	2,259	15,811	18,070
計	244,800	△189,953	54,847	650,595	705,442

### 2 補正の理由

#### (1) 東日本大震災の影響による搭載装備の確定遅延

請負業者である「函館どつく」は、想定していた以上に震災関連の発注があり、本船の仕様決定の検討・協議に時間を要し、平成23年度納入見込みの資機材の一部が平成24年度納入となったため、その相当分を減額する。

#### (2) 請負差金による減額

工事請負予算額（799,523千円）に対する落札額（682,290千円）が低位となったことから、当初見込んだ平成23年度の想定出来高（240,000千円）も減少したため、請負差金分を減額する。

### 3 竣工見込

「函館どつく」から提出されている工程表については、現在、計画どおりの進捗となっていることから、契約期日の平成24年12月3日までに竣工する見込みである。

今後の工程等は次のとおりとなっている。

1月	2月	3月	4月	5月	6月
申請	建造許可		鋼材の切断・加工		
			地上組立		

7月	8月	9月	10月	11月	12月
船台組立	進水				
	内装・外装・電気・配管・内側塗装等各種工事			海上運転・検査	竣工・引渡
			機器運転調整		

(注) 鋼材については、当初は若干の遅れがあったが、現在は順調に入荷。

鋼材を設計寸法に合わせて切断・加工するための基礎データ入力は完了。

## 6 秋田の地魚加工商品開発・販売推進特別対策事業

水産漁港課

### 1 補正内容

(単位：千円)

事業名	予算現計	実績見込み額	補正額
秋田の地魚加工商品開発・販売推進特別対策事業	49,882	27,219	△22,663
(1)秋田の地魚加工商品開発・販売推進事業	8,500	1,915	△ 6,585
(2)秋田の地魚加工商品開発サポート事業	6,677	6,677	0
(3)水産加工機器導入支援事業	26,610	11,550	△15,060
(4)県産ワカメ増産支援対策事業	8,095	7,077	△ 1,018

### 2 事業概要及び補正の理由

#### (1) 秋田の地魚加工商品開発・販売推進事業

##### ア 事業概要

漁業者グループが行う地魚の加工品開発や販路開拓等を支援する。

##### イ 補正の理由

取組グループ数等の減による。(計画：8グループ→実績：5グループ)

#### (2) 秋田の地魚加工商品開発サポート事業 (補正なし)

#### (3) 水産加工機器導入支援事業

##### ア 事業概要

漁業協同組合や漁業者が、販売力の強化に向けて、県内で水揚げされる魚介藻類の一次加工に取り組むための水産加工機器導入を支援する。

##### イ 補正の理由

事業量の減による。(計画：3機種計9台→実績：5機種計6台)

#### (4) 県産ワカメ増産支援対策事業

##### ア 事業概要

県内における養殖ワカメの増産体制を整備するため、ワカメ養殖施設の設置を支援するとともに、水産振興センターによるワカメ種苗の生産・供給を行う。

##### イ 補正の理由

ワカメ養殖施設設置数の減による。(計画：49施設→実績：42施設)

## 7 森林整備及び木材産業振興臨時対策基金積立金

林業木材産業課

森林の整備及び木材産業の振興を図る取組を加速するため、県、市町村、森林組合等が行う間伐及び作業路網の整備や、木材関連企業等が行う木材の流通・加工等に係る事業に充てる基金を積み増しする。

### 1 事業内容

#### (1) 基金の規模

	今回配分 (H24～H26)	現対策 (H21～H23)
全 国	1,399億円	1,393億円
秋 田 県	60.0億円	44.4億円
本県シェア	4.3%	3.2%

#### (2) 本県の内訳

区 分	内示額	割合 (%)
川上対策	34.6億円	57.6
川下対策	25.4億円	42.4
合 計	60.0億円	

#### (3) 本県の取組内容

##### ア 川上対策

搬出間伐、路網整備及び森林境界明確化等の取組に助成する。

##### イ 川下対策

木材流通加工施設や木質バイオマス利用施設の整備、高性能林業機械の導入等に助成する。

### 2 予算額

6,000,505千円（国庫補助金 6,000,000千円、財産収入 505千円）

### 3 事業年度

平成21～26年度